

# — 上智大学 —

2月5日 法・総合人間科・文学部 英語

## 解答

1

1. d    2. d    3. a    4. a    5. b  
6. d    7. d    8. b    9. a    10. c  
11. c    12. a    13. a    14. c    15. c

2

16. c    17. a    18. d    19. c    20. d  
21. b    22. d    23. c    24. b    25. b  
26. d    27. c    28. b    29. b    30. b

3

31. c    32. c    33. c    34. c    35. a  
36. a    37. b    38. b    39. c    40. c

4

41. d    42. a    43. c    44. b    45. b  
46. d    47. d    48. a    49. b    50. b

5

51. c    52. d    53. b    54. a    55. c  
56. c

6

57. d    58. e    59. h    60. a

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)



早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

## 解説

1

英文、設問ともに標準のレベルよりもやや難しめといったところ。上智大学のレベルを考えれば妥当な出題である。長文は2題なので慌てることなくじっくり取り組みたい。

(1)

下線部は「意見の相違を受け入れない」という意味。語彙が難しいが、サッチャーを持ち出した理由を答えれば良いので直後の2つの文が理解できれば解答可能だ。該当部分に「力強く話した、にも関わらず首相の時に言葉を遮られた」という内容が書いてあるので(d)だとわかる。

(2)

Why で文が終わっているので省略を考える。省略する理由は「言わなくてもわかる」からであり、基本的には「繰り返し」を避けるために用いる。直前の部分を使用して Why (she was often interrupted in interviews)とすれば解答は決まる。

(3)

設問から筆者が「conversation = machine」と定義している理由が書いてあることがわかるので、順接でつながっている直後の文を理由と理解すればいい。その部分に「人間は大抵の場合、no gap, no overlap というルールに従う」とあることから、「ルール通りに動いている=機械」と筆者は考えていることが読み取れる。それに触れている選択肢は(a)しかない。set は形容詞で使用されていて「定められた、お決まりの」という意味。

(4)

such as は「例えば」という意味なので、下線部は直前の内容の具体例だとわかる。つまり、「(会話の)順番が終わることを示す合図」のことなので(a)になる。

(5)

該当箇所は設問の段落の最終文にある a sharp drop in her pitch 「声が低くなること」であることに気付ければ良い。正解は(b)で deep は「声が低い」の意味になる。(a)は「声が途切れる」となるが、その場合は interrupt することがそもそもできないので不可、(c)は下線部(4)の前半の内容なので不可(下線部は一般論であり、サッチャーの事例ではない)、(d)は関係ないのですぐおとせるはず。

(6)

該当段落冒頭の「一般的な考え方に反して」以下の記述内容がわかれば良い。会話の仕方に関しては文化的な差異が小さいと読み取ることは容易なはずなので、正解は(d)となる。

(7)

「日本人は礼儀正しいと言われているにも関わらず、受け答えするときの合間が短い」というのが下線部を含む文の意味。infer という設問だが、though があるので、ディスコースマーカを意識しつつ解答するパターン。「礼儀正しい」と「合間が短い」というのが逆説関係にあることから、「合間が短い」=「礼儀正しくない」という考え方があることが推測できる。よって解答は(d)となる。

(8)

detritus 「残骸」という意味なので(b)が正解、難しい単語なので、文脈から「意味のない言葉」ということがつかめればいい。

(9)

This は直前の「Um などの声によって会話が終わっていないことを示す」という部分を指している。下線部を含む文を読めば、「話し手が交代するほんの一瞬でのみこれは意味を成す」とあるので、要するに「意味のない言葉を挟むことで時間稼ぎをして会話を継続しようとしている」という内容をつかめればいい。そのことを踏まえて選択肢を見れば(a)が妥当だろう。

(10)

(9)の内容を追えていけば(c)だとわかる。(b)は「会話の順番を維持する、譲らない」という内容に触れていないので不可。

(11)

ここも(9)で説明した内容を追えていけば、(c)だとわかる。

(12)

直後に Listeners uses them とあるので、"um"と違って"uh-huh"は聞き手が使用しているとわかる。話している方が"uh-huh"と相槌を打ちはじめたら流石に危ない。解答は(a)で特に紛らわしい選択肢もないはず。

(13)

下線部は「悪魔的な、非道の=morally bad」という意味だが、受験生には馴染みのない単語であると思われるし、選択肢を見てもマイナスの意味が多く絞りにくい。実験という単語にかかるので、どんな実験なのかを確認してみると、一方が真面目な話をしているのに、他方はそこから気をそらしてしまうような行為を義務付けられているという実験である。それを「道徳的ではない=immoral」と解釈するのも無理ではないし、「奇妙な=funny」といっても文脈に合う。場合によっては「巧妙な=ingenious」実験ということも可能かもしれない。試験会場で迷い始めたとしたら、適当なところをマークして次の問題に行けばいい。解答例としては、(8)の detritus が辞書の意味で解答できたので、同じ基準だと考えて(a)とする。

(14)

第2文目の **his rules** が第3文目で **They** と代名詞になっていることなどを丁寧につかめていけば(c)だとわかるだろう。

(15)

(a)は **because** という因果関係が成立しない、(b)は第4段落冒頭部分とずれる。**Conversation dynamics** は文化間の差異が少ないとある。(c)が正解、ここでの **interruption** は、相手の会話にちゃんと反応した際に生じることだと考えれば問題はない。**lubricant** は「潤滑油」という意味。(d)は”uh-huh”のみに限定している点が奇異。

2

科学技術が進歩することで人間同士の直接的な関わり合いが減少するという内容で、比較的イメージしやすいため、本文の難易度は標準レベルといえる。しかし、設問は丁寧に吟味しなくては解答できない問題があり一筋縄ではいかない。結果的にやや難しめとっていいだろう。

(16)

(a)はすぐにおとせる、(b)は **possible worlds** だけだと不足、**human interaction** に触れる必要がある。(d)も問題なくおとせるだろう。正解は(c)だが、**hidden** は一文目の **unspoken** の言い換えだと考えれば良い。最初の数行で処理できる問題だが、段落を読み切ってから解いた方が消去法を使用しやすいので安全。

(17)

下線部は「欠陥ではなく特徴だ」という意味だが、その部分だけではなく主語を意識すること。主語の **This tendency** は直前部分の「人間が(直接)関わらなくなる世界を生み出すこと」を意味していることを把握したい。選択肢に含まれている **the trend** がこのことを示していることに注意しつつ解答すること。「欠陥ではない」という部分から、(c)の選択肢は切ることができるが、それ以外の選択肢は段落の文意から判断する。設問(18)とも絡むが、「人間が関わらなくなる傾向」は、「意識的に考えられてはならない目的」、つまり「無意識のうちに想定されていた目的」だと判断可能なので、「人間が関わらなくなる傾向」は段落最終文の単語で表せば「不可避」ということになる。よって、(a)の「偶然ではない=必然だ」がもっとも妥当と判断できる。

(18)

下線部を含む文と、それに続く文脈より判断すれば良い。「人間が関わらなくなること」は主要な目的として言及されていないが、無意識に想定されていたという流れをつかめていけば(d)だとわかる。

(19)

trajectory は「軌道」という意味。直後の other possible roads との対比関係であることは容易に見抜けるので、そこから判断すれば(c)が正解。

(20)

(19)を含む文がヒントになる。「そのパターンに気づけば、それはたくさんある内の一つにすぎないと気づくだろう」という部分の「そのパターン」は設問のリード部の内容に一致するので、人間との関わり合いを減らすというのは無意識に従っているだけで必然的なものではないと読み取れる。よって、正解は(d)とするが、やや読み取りづらいので消去法で答えを出した方が安全。

(21)

該当部分がはっきり設問に出ているので、その部分を精読すれば良い。ここでの the camp は「陣営」の意味。正解は(b)になる。(a)は that 節以下が矛盾している。

(22)

「筆者は自身の社会的な発展に関してどんな想像をしているか」というのがリード部である。of 以下が image を修飾している。該当段落 2 文目の記述から(d)だと判断できる。

(23)

この段落は効率化を目指す技術者の視点からすると、人間同士の関わり合いは非効率的なものなので排除しようと考えるといった趣旨を押さえておくこと。その大意がつかめていれば(c)だとわかる。

(24)

技術者の考え方は(23)で説明した通りのものなので(b)が正解。(d)は for many women が不可。

(25)

正解は(b)だが、選択肢のように do the math を解釈することはやや難しいので、消去法を利用したい。(a)は流石に無関係である。(c)は frictionless が不可、「摩擦のない人間の関わり合いが少ない社会」だと「摩擦だらけの関わり合いのある社会」の意味なので本文と矛盾してしまう。(d)は因果関係が逆になる。男性的な効率を求める結果、人間の関わり合いが減るとというのが本文の流れである。

(26)

tolerance of difference 「違いを許容すること」と繋がることをつかめば、正解は(d)だとわかる。(a)の選択肢のように hostile と限定する必要はない。これは as well as 以下から作成した引っかけの選択肢。

(27)

本文の **what we already** 以下の記述から判断すればいいが、**a diet of A** 「おなじみの A、おきまりの A」という表現を知らないと正解はできない。**feed** の消去法で真っ先に正解の(c)を消去した受験生も少なくなかったはず。友人たちが好むものと本文にあるだけで、友人に関する知らせというのは本文の内容とはずれるので(d)は不可。

(28)

「内容の真似をした広告」という意味なので、(b)が正解。「予備校」という言葉で検索すると、最初の項目は検索結果のように見えるが、小さく「広告」と書いてある項目が並ぶはず。そのことを示している箇所。

(29)

「人々が Facebook を使えば使うほど、自分がダメな人生を送っているように感じる」と本文にあるので、(b)が正解。「人生に関して **worse** に感じる」とあるので、自分の具合が悪くなっている(a)などに引っかからないこと。

(30)

「多くの～が便利で賢く効率的でないといっているわけではない」と否定語を読み落とさなければ(b)だとわかる。(d)の選択肢は下線部の後続の部分をもとめたものであり、設問の指示とずれるので不可。

3

いくつか難問も含まれるが、分詞や関係詞絡みの基本的な知識で半分は得点できるのでそこを落とさないことが重要。

31 c → but

32 c → don't

33 c → for

34 c → in

35 a → astonishing

36 a → can

37 b → in

38 b → drived

39 c → for whom

40 c → when

4

英文の中で文脈というよりも語彙力を中心とした出題。「灌漑」という言葉の意味がわからなかったりすると、見た目よりも手強く感じてしまう可能性が高い。

(41)

over the last 7000 years から現在完了が適切だと判断できる。

(42)、(43)

「毎年の洪水に頼るのではなく、灌漑を利用した」という流れがわかればいい。農作物を作るための「水」をどのように手に入れるかという趣旨であることを理解したい。

(44)

「農作物の生産性が向上することにつながった」とすればいい。improved は過去分詞。

(45)

in turn 「今度は」とすれば意味が通る。

(46)

Large-scale conversion of agricultural land を修飾する部分なので(d)が正解になる。involve は「巻き込む」だけでなく「含む」などの意味もあることを知っていれば解答可能だろう。

(47)

「現代的な技術が利用可能になること」とすればいい。the availability of A 「A が利用できること」

(48)

distribute 「～に配る」が過去分詞で使用されている。

(49)

finish with A 「A で終わる」、ダム建設で、改築が終わるという流れ。

(50)

bring about = cause

5

多義語を中心とした設問で(54)の aim high 以外は標準レベルだが、意外に差がつく形式だと思われる。

(51)

precious stones 「宝石」

a precious commodity 「貴重な必需品」

(52)

a recycling plant 「リサイクル工場」

a potted plant 「鉢に入った植物」

(53)

this scientific project 「この科学的な計画」

project your voice 「あなたの意見を表明する」

(54)

one important aim 「重要な目標」

aim high 「望みを高く持つ」

(55)

manage 「～を運営する」

manage to do 「(なんとか)～するのに成功する」

(56)

acute pains 「激しい痛み」

an acute sense 「鋭い感覚」



6

選択肢は8個とやや多いが、日本語と英文を見比べつつ取り組めば比較的取り組みやすい設問である。

(57)

Eric Wachsman thinks he might have an answer to one of the great challenges that is hindering the rise of electric vehicles:

(58)

But Professor Wachsman's big idea, using a solid ceramic rather than flammable liquids inside the battery, won't show up in electric vehicles anytime soon.

SとVの間に副詞(この場合は分詞構文)が入っていることを見抜けば、解答部分は述語動詞が入るとわかるので、すべて並べずにwon'tを入れることも可能だろう。

(59)

Even when a technology works, proving its commercial viability, refining it, and attracting private investment takes time and effort.

(60)

the difficult realities nations face as they seek to address climate change by moving rapidly toward a clean energy economy

the difficult realities (which) nations face という関係代名詞の省略に気付けるかどうかポイント。  
address は動詞で使用すると「～に取り組む」の意味があることにも注意。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！